

高岡市男女平等推進

〒933-0023 富山県高岡市末広町1-7
(ウイング・ウイング高岡6階)
tel. (0766) 20-1810 fax. (0766) 20-1815
E-mail gec@office.city.takaoka.toyama.jp
http://www.manabi-takaoka.jp/GEC/index.html

センターだより

2010

12月1日発行

第31号



「ありて」は、自分の力で問題解決していくイギリスの童話「アリーナの冒険」の主人公の名前です。「私の未来は私が作る」とアリーナはいます。



「粹メン養成講座」を受講して

高岡市男女平等推進センターネットワーク会議副代表
粹メンプロジェクトチーム座長
牧野校下連合自治会会長

おおさか しょうすけ
大坂 昭輔

男女共同参画社会基本法が制定され、前後してさまざまな法制度が整備されました。男女が性別にかかわらず、互いに尊重し、多様な生き方を認め合うことが求められています。生物学的な違いはありますが、人間の特性は「男性」「女性」と二つに分類されるほど単純ではありません。しかしながら、女性は家庭で職場で地域の中で、その性により差別を受けることがあるのが現実です。家庭においては、「男性は仕事、女性は家事と子育て」「介護は女性」「話し合いは男性、接待は女性」といった風潮・慣行は日本の社会に根深く残っているようです。

このような固定的な性別役割分業観を払拭する意味から、また「家事や育児などに積極的に関わる粹(いき)でかっこいい男性」=「粹(いき)メン」の養成と広がりを目指し、高岡市では「粹メンプロジェクトチーム」が

設置されました。わがまち牧野地区でも取り組みを始め、11月14日(日)、牧野小学校で開催した料理実習では、校下自治会の協力により、30名の男性が参加し、地元食生活改善推進協議会の皆さんの指導のもと、料理づくりに挑みました。料理を作る楽しみを味わい、関心と自信が増した有意義な体験となりました。12月5日(日)には、男性の介護参画をテーマに、地域のあり方を考える講座を開催いたします。

さて、豊かな地域づくりを推進していくにあたり、「自治会」の役割は大変重要ですが、「自治会」の要職に、女性がほとんど選出されていない現実があります。男女が性別にかかわらず、地域づくりに取り組むことが大切です。地域づくりをより充実させるためにも、男女が共同・協力していくなから、住みよい共生社会が築かれるものと存じます。

おつけた! 出会い ふれあい 深め合い



男女平等EXPO高岡2010 事業報告



たくさんの方にご協力いただき、ありがとうございました。

デートDV予防啓発講座 10/29 (金)

「DVは身近な問題」をテーマに、DV根絶チャリティライブに出演する市内若手ミュージシャンなどへの事前講座として開催し、若い世代の恋人間に起こる暴力について理解を深めました。



DV根絶チャリティライブ 11/7 (日)

実行委員会の皆様により、「人と人のよりよい関係をつくるために」をテーマに、ライブ演奏、市内のDV支援団体による活動発表、DV根絶パネル展示などが行われ、DV根絶を願う多くの皆様に参加いただきました。



SP-Dさんが曲をつけた高岡市男女平等・共同参画都市宣言文を、全員で合唱



富山県男女共同参画推進員高岡連絡会の皆様によるロールプレイング



DV根絶パネル展示



会場入口前では、来場者に募金協力をお願い

男女平等EXPO高岡2010についての意見・感想から

- ・DVが個人だけではなく、社会の問題と考えることが必要だと思った。
- ・DVについて考えさせられた。あつてはいけないと思った。
- ・ライブで、あたたかい歌を聴くことができ、良かった。同じ富山で頑張っている人がいるということで、すごく勇気が湧いた。
- ・高岡市男女平等・共同参画都市宣言が歌になり、びっくりした。とてもよかった。身近に感じる。
- ・人と人のつながりの大切さを感じた。こういう活動を通じて、隠れているDVが少しでもなくなればいいと思う。

企画展 女性に対する暴力をなくす運動

11月12日から25日までの「女性に対する暴力をなくす運動(パープルリボン運動)」の実施期間に合わせて、センターサロンでは、DV(ドメスティック・バイオレンス)に関するパネル展示を行いました。また、パープルリボン運動(紫色のリボンを展示Tシャツにつけることで、「暴力のない世界にしたい」という意思表示をする運動)を行い、暴力のない世界となることを願いました。



市民企画講座 「暴力で解決しない社会を」企画：アッロチ・高岡DV被害者自立支援基金ほか

11月19日(金) 清田吉和さん(石川県こころの健康センター所長)を講師として、DV被害者の現状についてお話しいただきました。受講者は、DV被害者をつくらないためには、子育て期において、周りの大人が十分に愛情をそそぎ、自己肯定感を育むことが大切であることなどを学びました。



12月3日(金)は、根津敦さん(富山福祉短期大学准教授)を講師にお招きして、「他人事を自分事にする社会を～北米での取り組みの紹介を通じて～」をテーマに、お話しいただく予定です。

企画講座 「女性のための護身術」～自分を守る私になろう～

11月20日(土) 福多唯さん(WEN DOインストラクター)を講師として、女性のための護身術講座を開催しました。受講者からは、「娘を持つ親として、身を守ることを学ぶことで、危険から回避できると思う。また、声を出すことによっても護身できることが分かり、良かった。」などの感想がありました。



市民企画講座 「すてきな生き方してみよう！」企画：コモン塾



11月8日(月)・12日(金) 阪部江里子さん(高岡市民病院 産婦人科女性専門外来医師)を講師として、女性の健康と未来の母性を守るために知っておきたいことについて、お話しいただきました。受講者は、女性の一生を通じての健康維持の情報などについて、熱心にメモをとっていました。

出前講座 粹メン養成講座 in 牧野 ～家事(料理)編～



「粹(いき)メン」ちゃ何け?



「粹(いき)メン」とは、育児や家事などを積極的に楽しみ、自分自身も成長する高岡の男性のことを言います。

11月14日(日) 粹メンを目指し、牧野地区に住む男性30名が、調理実習を行い、できあがったおいしい料理を皆で試食しました。12月5日(日)には、「介護における男性の参画」をテーマに、粹メン養成講座が開催される予定です。



- 11月14日の献立 ●
- ・まつたけかな～? ご飯
- ・鶏のから揚げキムチがらめ
- ・「おから」がサラダ?
- ・里芋のみそ汁



センター企画講座のご案内 「ねっこ塾」

すてきな「自分」になるためのヒントを塾長 野村乙美（センター所長）が提案します。

第1回 見つけよう！自分に似合う色はどんな色

日 時：平成 23 年 1 月 19 日（水）13：30～15：30
 内 容：自分に似合う色、その場面にふさわしい色の
 使い方を提案し、魅力アップにつなげます。
 定 員：30 名（1 月 6 日（木）申込み開始、申込み順）
 託 児：無料<申込み期限 1 月 7 日（金）>

単独受講も
可能です。



第2回 カラダの中からきれいになろう～生体リズムってなに～

日 時：平成 23 年 1 月 26 日（水）13：30～15：30
 内 容：体温を意識して、毎日をいきいきと過ごせる
 生体リズムを考えます。
 定 員：30 名（1 月 6 日（木）申込み開始、申込み順）
 託 児：無料<申込み期限 1 月 12 日（水）>

第3回 発見！自分ブランド～まわりの印象から築く「わたし」～

日 時：平成 23 年 2 月 2 日（水）13：30～15：30
 内 容：自分が知らない新しい「わたし」を築きます。
 定 員：30 名（1 月 6 日（木）申込み開始、申込み順）
 託 児：無料<申込み期限 1 月 19 日（水）>

託児については、満 1 歳以上から就学前までのお子さん。詳細は、センターへお問い合わせ下さい。

いずれも申込み・問合せは、男女平等推進センターまで。

(0766)20-1810 Fax (0766)20-1815

E-mail gec@office.city.takaoka.toyama.jp ホームページ <http://www2.city-takaoka.jp/gec/>

心のおしゃれ 幸房

11 月 7 日（日）ウイング・ウイング祭にて、実行委員会の皆様により、「人と人とのよりよい関係をつくるために」をテーマに、「男女平等 EXPO 高岡 2010～DV 根絶チャリティライブ～」が開催されました。

当日は、市内の若手ミュージシャンによるライブ、市内の DV 支援団体による活動発表、DV 根絶パネル展示などが行われ、市民団体関係者をはじめ、企業、学生、行政関係者など、DV 根絶を願う多くの皆様にご参加いただきました。

フィナーレには、ライブ出演アーティストの S P - D さんが曲をつけた高岡市男女平等・共同参画都市宣言文を、全員で歌い、会場は一体感に包まれました。ご来場の皆様それぞれが、歌を通して素直な気持ちで自らの心を見つめ、みんなの幸せを願う一時を過ごすことができたのではないのでしょうか。

このイベントを通して、男女平等・共同参画のまちづくりや、DV 根絶への熱いメッセージが、実行委員の皆様をはじめ、出演アーティストや協力団体の皆様により、自発的に発信されたことをとても嬉しく、また心強く思っています。

牧野地区において、11 月 14 日（日）には、同地区連合自治会、食生活改善推進協議会、そしてプロジェクトチームの皆様により、男性への意識啓発事業「粋（いき）メン養成講座～家事（料理）編～」が開催され、地域の男性約 30 人が炊き込みご飯など 4 品の調理に挑戦しました。（12 月 5 日（日）には、介護をテーマとした講座を開催予定。）

「粋（いき）メン」とは、育児や家事などを積極的に楽しみ、自分自身も成長する高岡の男性のことを言います。高岡市では、「男女平等・共同参画」に積極的な男性を、粋（いき）でかっこいいモデルとしてとらえ、様々な取り組みの中で、育成・発信していきます。高岡発のオリジナル用語「粋メン」を、ぜひ皆様のふだんの会話や行動によって、広めていってくださいね。

「EXPO」、「粋メン」、これらに代表されるボランティアな市民活動は、高岡市の誇りだと思っています。今後、このような活動が少しずつでも実を結び、やがてすべての人々が笑顔でいられるような世の中となることを切に願っています。

高岡市男女平等推進センター所長 野村 乙美